

|       |                               |   |   |   |   |   |   |       |
|-------|-------------------------------|---|---|---|---|---|---|-------|
| 取扱説明書 | RN-A024A-HLA < RTS-350GAH-L > | 1 | 6 | 7 | 8 | 9 | 1 | 5     |
|       | RN-A024A-HRA < RTS-350GAH-R > | 1 | 6 | 7 | 1 | 9 | 1 | 4     |
|       |                               |   |   |   |   |   |   | 13011 |

ガステーブル

家庭用

天ぷら油過熱防止機能付

# 取扱説明書

保証書付



品 RN-A024A-HLA

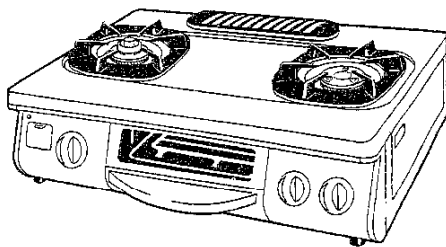
機器コード 1678915

名 RN-A024A-HRA

機器コード 1671914

■形式の呼び RTS-350GAH-L  
RTS-350GAH-R

よく読んで  
安全に正しく  
お使いください。



| もくじ                 | ページ |
|---------------------|-----|
| 各部のなまえ              | 1   |
| 安全上のご注意 (必ずお守りください) | 2   |
| 特長                  | 9   |
| 機器の設置               | 10  |
| 使いかた                |     |
| 点火・火力調節・消火のしかた      | 13  |
| コンロ                 | 14  |
| グリル                 | 15  |
| 使用中に消火したときは         | 16  |
| お手入れのしかた            | 17  |
| 長期間使用しない場合          | 19  |
| 故障かな?と思ったら          | 20  |
| アフターサービス・仕様         | 21  |
| 保証書                 | 22  |

ご愛用の皆様へ

このたびはガステーブルをお買い上げいただきまして、ありがとうございます

- ご使用前にこの取扱説明書を最初から最後までよくお読みいただき安全に正しくお使いください。
- この取扱説明書はP22が保証書になっています。内容をよくご確認のうえ、保証書とともに大切に保管してください。
- 幼いお子様にはさわらせないでください。
- この製品は家庭用です。業務用のような使いかたをされますと著しく寿命が縮まります。
- この製品は国内専用です。海外では使用できません。
- 取扱説明書を紛失した場合は、お買い上げの販売店またはもよりの東京ガスにて再購入してください。

 TOKYO GAS





## 5 安全上のご注意 必ずお守りください

**△注意**

- グリル水入れ皿だけを持って本体より取り外さない  
グリルとびから湯や火が落ちる場合があります。必ずグリルとびら取り外ししてください。
- グリルとびに重いものをのせたり、強い力を加えない  
グリルとびがはがれ、けがの原因になります。
- 指定以外の補助具や大きすぎる鍋などは使わない  
コンロをおおうような鉄筋や直径34cm以上のなべ、煎ぎ鍋、たこ焼き器、アルミはくしゃくしゃの受け皿、缶詰などを扱うと異常発熱し、一酸化炭素中毒の原因となったり、機器の故障や焼損（トッププレートやしる受け皿の染色）の原因となります。また、温度センサーが正しく作動せず発火や消火の原因にもなります。
- 棚の下など落下物の危険のある所に機器を設置しない  
機器の上に落ちた物が燃え火災の原因になります。
- 衣類の乾燥や糊状の火起しなど調理以外の用途に使用しない  
火災や異常発熱し機器故障の原因になります。
- ごとくをはずしてなべなどを直接コンロに置いて使用しない  
不完全燃焼や機器焼損の原因になります。
- 使用中は換気をする  
一酸化炭素中毒の原因になります。ただし、自然排気式給排気およびふろこ室を使用している場合は、換気扇を回さないで換気をしてください。換気扇を回すと排気ガスが逆流することがあります。
- コンロ・グリル使用中はバーナー付近や排気口に体の一部や衣服を近づけない  
炎や熱で衣類に燃え移ったり、やけどの原因になります。
- 使用中、使用直後は器具柱つまみ、グリルとびら取り手以外の触れない  
やけどをすることがあります。とくに幼いお子様がいる家庭ではご注意ください。
- 不安定な場所に設置しない  
機器が傾いてなべなどが落ちる発火、やけどやけがをする原因になります。
- 強い風の吹込む場所に機器を設置しない  
機器内部の焼損や安全装置が正しく作動しないなどの原因になります。また点火不良の原因にもなります。
- 車両・船舶では使用しない  
使用中に機器が傾いたりして、火災や、やけどをする原因になります。
- しる受け皿はバーナーキャップにのせたり、斜めにしてセットしない  
バーナーの炎がしる受け皿の下にもぐり込み火災や機器故障の原因になります。

## 6

|       |                               |   |   |   |   |   |   |   |       |
|-------|-------------------------------|---|---|---|---|---|---|---|-------|
| 取扱説明書 | RN-A024A-HLA < RTS-350GAH-L > | 1 | 6 | 7 | 8 | 9 | 1 | 5 | 13041 |
|       | RN-A024A-HRA < RTS-350GAR-R > | 1 | 6 | 7 | 1 | 9 | 1 | 4 |       |

**△注意**

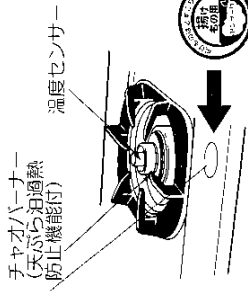
- 点火するときはバーナー付近に顔など近づけない  
炎や熱でやけどをする原因になります。
- バーナーキャップを水洗いしたときは水をじゅうぶん叩きつけてからセットする  
炎口が詰まったまま使用すると異常発熱の原因になります。
- 強いお子様に触れさせない  
やけどやけがをする恐れがあります。
- やかん、なべなどの大きさに合せて火力を調節する  
火力が強いとやかんやなべなどの取っ手が焦げたり、手に触れるとやけどをする原因になります。
- 機器本体内部をお手入れする場合は、各製品の突起物などに注意する  
強く当たった場合、手などにけがをする場合があります。
- 幼いお子様が遊ぶ器具を触らせない  
やけどやけがをする恐れがあります。

## 7 安全上のご注意 必ずお守りください

### 天ぷら油過熱防止機能のバーナーについて

天ぷら油過熱防止機能とは天ぷら、フライなどの揚げものの調理で、消し忘れなどによる急激な油温の上昇を防止する機能です。温度センサーでなべ底の油温を監視し、調理油が着火する温度になる前に自動的にガスを止めます。

揚げものの調理をされるときは、必ずこの機能のついているチャオバーナーを使用してください。



※天ぷら油過熱防止機能がついているバーナーは右図のようにトッププレートに $\odot$ および前面パネルに揚げもの用と表示してあります。

### 注意

- 揚げものの調理をされるときは、必ずチャオバーナー(天ぷら油過熱防止機能付)を使用する。標準バーナーを使用すると消し忘れ等により調理油が着火することがあります。

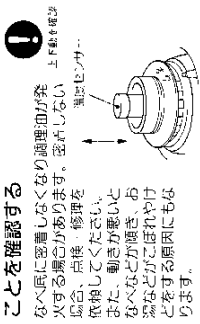
### 警告

- チャオバーナー(天ぷら油過熱防止機能付)で油料理をするときは、耐熱ガラス容器・土なべなど熱が伝わりにくいものは使用しない。調理油が着火することがあります。
- 温度センサーの上面となべ底が密着していないときは使用しない。そのまま使用すると調理油の量に関係なく着火することがあります。
- チャオバーナー(天ぷら油過熱防止機能付)で使用する調理油の量は200ml以上で行なう。調理油の量がはじめから少なかつたり、減ってきたりすること、着火することがあります。
- なべ 温度センサー 耐熱ガラス 土なべ 油圧禁止
- なべ底 煮物が付着 すすぎ

## 8

### 注意

- 温度センサーのお手入れはこまめに。温度センサーに強いショックを加え行なう。また上下にスムーズに動く。たりキズをつけない。



なべ底にセンサーが密着しなくなり、調理油が着火する場合があります。



- チャオバーナー(天ぷら油過熱防止機能付)では、中華ごとく(別売)を使用しない。

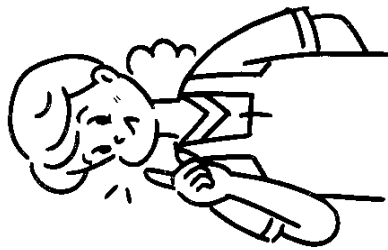
なべ底に温度センサーが密着しなくなり、調理油が着火する場合があります。

- コンロバーナーの上で煎焼き・鉄板焼きなどをすると、トッププレートやしる受け皿の色が変えることがあります。
- なべの種類によっては、傾いたり、すべりやすいものがあります。不安定な状態で使わないでください。中華なべなど底の熱いなべは、必ず取っ手を持ちながら調理してください。
- 蒸しほれをさせる機器を早くいためますので、蒸しほれさせた場合は機器がさめてからできる限り早くふきとってください。

RN-A024A-HLA < RTS-350GAH-L >  
 RN-A024A-HRA < RTS-350GAH-R >

1 6 7 8 9 1 5  
 1 6 7 1 9 1 4 1 3 0 6 1

## 9 特長



### 立消え安全装置

熱こぼれなどで人が燃えると、  
 ガスを自動的に止めます。



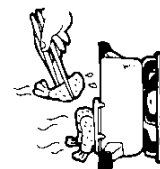
### グリルとびら



グリルとびらを引っ張り出すとグリルとびらが下がり、魚の凍傷し、取り出しがカンタン。  
 また、グリルとびらがワンタッチで締めてさ、お手入れがしやすくなりました。

### 天ぷら油過熱防止機能

天ぷら・フライなどの揚げ物の調理で、油が沸騰し過ぎるのを感知して、自動的に火を止めます。(チャオハ

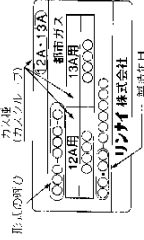


## 機器の設置

## 10

### 取り付けの注意

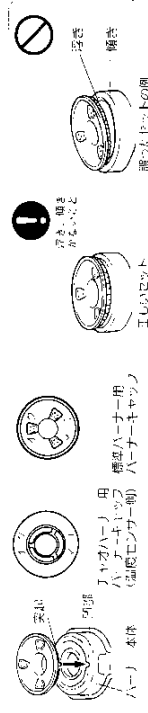
- 形互の呼び、ガス種、製造年月は、機器右側面の銘板に表示してあります。
- 供給のガス種（ガスグループ）と供給ガスが合っていないが確認します。
- 前述のため各部分に接着剤や塗装材がありますので全部取除いてください。



### バーナーキャップ

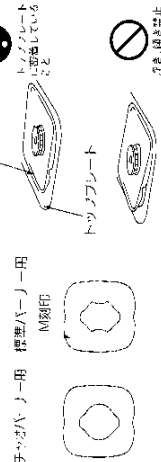
「M」刻印を事前にしてバーナーキャップの突起部をバーナー本体の凹部に正しくはめ込む。

※バーナーキャップが強い力に押しつぶされたりしている状態が不ぞろいになったり異常燃焼などが起こる場合があります。



### しる受け皿

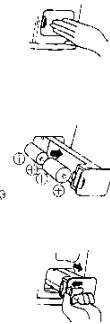
- チャオハバーナー用と標準バーナー用（M刻印表示）の2種類ありますので間違えないように取り付けてください。
- 「M」の刻印を必ず手前にしてセットしてください。



### 単1形乾電池2個（付属品）

乾電池のセットのしかた

- 電池の正極（+）と負極（-）の向きを間違えないようにして乾電池を入れます。



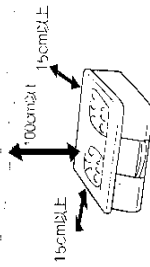
- 乾電池は必ず2個とも同種類の新品の単1形乾電池をご使用ください。
- 乾電池の交換の際は乾電池の種類によっても異なりますが約1年を目安としてください。
- 付属の乾電池は工場出荷時に納められたもので自然放電のため寿命が短くなっている場合があります。

## 11 機器の設置

### ●設置場所および周囲の防火措置

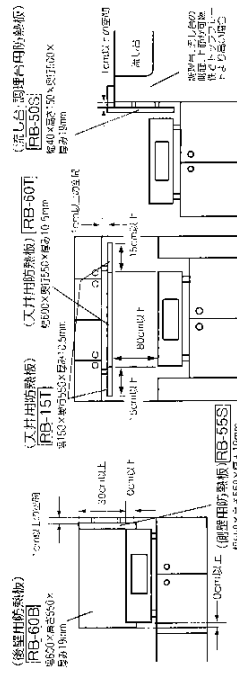
#### 設置場所

- 強い風の吹き込まない場所。又天で水平な場所
- 付近にカーテンなど燃えやすいものがない場所
- 機器の上に湯沸し器のない鍋戸
- 燃器を併用した場合ガス栓が加熱されない場所
- 落下物の危険のない場所
- 機器の上に樹脂製の照明器具のない場所



- 周囲に可燃物（木製の壁、モルタル、タイル、ステンレスなどを張り付けた壁、たななど）のある場合、トップアラートより上面の前面および後面は15cm以上、上部はトップアラート上面より100cm以上離す。上記の距離がとまらない場合は壁面に別売の防熱板を取り付けて設置する。

#### 防熱板について



#### ●側面専用防熱板

機器とガス台の幅が同じで側面が可燃性の底の場合に機器本体に取りつけて使用します。

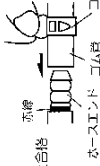
#### ●前面専用防熱板

防熱板（別売品）については、お買い上げの販売店またはもよりの東京ガスにお問い合わせください。  
●指定の防熱板以外は絶対に使用しないでください。

### ●ガスの接続

#### ゴム管で接続する場合

ガス用ゴム管（ソフトコード）（内径9.5mmφ、JISマーキング入り）を用い、折れたり、ねじれたりしないようにして方入栓と機器のホースエンドとを接続します。（2m以下で適当にゆとりをもたせる）このときゴム管は加熱までしっかりと差し込み、ゴム管止めで固定してください。また機器本体に配れないようには接続します。



#### ガスコード等でコンセント接続する場合

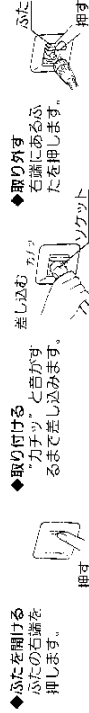
- ガス機器側の接続 → 機器のホースエンドをコンセント化してガスコードでコンセント接続する場合



左図のように、まず別売の器具用スリムプラグを梱包台紙の裏面に記載してある取扱説明に従って機器のホースエンドに取り付け、次にガスコードの器具用ソケットを器具用スリムプラグに「カチッ」と音がするまで押し込みます。

- ガス検知の接続 → ガスコードなどで「ガスコンセント」に接続する場合

「ガスコンセント」は、ガスコードなどを取り付けると自動的に開栓し、取り外すと自動的に閉栓します。



- ガスコード接続する場合は、ガス検知がカチップラグになつていないと接続できません。従来のガス検知を使用する場合は、別売のホースコード用プラグが必要で、ガス検知がガスコード用プラグであることを確認してください。
- ガスコードは必ずガスコード用プラグを付属品にお取りください。
- ガスコードの長さ2m以下にしてください。





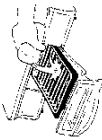
# 15 使いかた

## グリル

### ●グリルを使用する前に

#### はじめて使用するときには焼かす必要があります

工場の出荷前の加工油を焼ききるためグリル水入れ皿に必ず水（200cc）を入れて、約15分から焼きをしてください。この時、煙がたまりますが、煙はあります。



### ●グリルで上手に焼くには

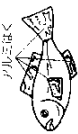
#### グリル焼網の高さ

焼きで焼網の高さが変えられます。焼き物の大きさ、種類により高さを選んでください。



#### 魚の尾やヒレは？

こげやすい魚の尾やヒレはアルミはくで包んだり、厚めに塩をふりかけたりします。



#### 予熱が必要

あらかじめ3～4分予熱しておくことときれいに焼きあかります。つけ焼き、照り焼きなどのこげつきやすいもの、火の通りやすい身の軽い魚などは、予熱せずに焼いてください。

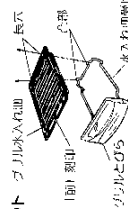
#### グリル焼網に油

グリル焼網にリラジ油などを塗っておくと、焼き上がり後、材料が焼網に付着しにくく取り出しやすくなります。



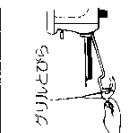
### ●グリル水入れ皿の出し入れ

グリル水入れ皿の心頭をグリル水入れ皿の取穴に差し入れてセットします。



#### 引き出すとき

グリルとびらを止まると、グリルとびらに引っ掛かるまでゆっくりと引き出すと、グリルとびらと皿が分離しやすくなります。



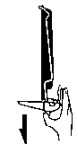
#### 取り出すとき

グリル水入れ皿を取り出すときは、グリルとびらを止まると、皿までゆっくりと引き出してから、そのまま持ち上げて取り出します。



#### 持ち運ぶとき

グリルとびらを取っ手を握りしめ、水平にゆっくり持ち運んでください。



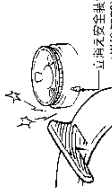
## 使用中に消火したときは

### ●天板の油が燃え広がると自動消火（チャオバーナーのみ）

消しきれないようであれば、乾電池の異常発熱時に自動消火します。  
●すぐに器具のつまみを同じ消火の状態にする。  
●再度点火するときは  
※水を入れたら必ず水に濡した布などで温度センサーを冷してから点火する。この時、調理油は高温になっているので注意してください。

### ●立消え安全装置が作動（チャオバーナーのみ）

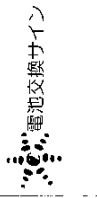
乾電池の容量が少なくなってきた場合、自動消火します。  
●すぐに器具のつまみを同じ消火の状態にする。  
●乾電池を交換してください。（P10参照）  
●再度点火するときは  
※同時にガスがなくなってきたことを確認して、立消え安全装置（炎検知部）の汚れをふきとってから点火する。



乾電池などで火が消えると、ガスを自動的に止めます。（ガスが止まるまで少し時間がかかります。）  
●すぐに器具のつまみを同じ消火の状態にする。  
●再度点火するときは  
※同時にガスがなくなってきたことを確認して、立消え安全装置（炎検知部）の汚れをふきとってから点火する。  
立消え安全装置（炎検知部）に水滴や湯こぼれがつかると、点火しにくくなったりします。水滴や湯こぼれはふきとってください。  
立消え安全装置（炎検知部）に火がつかないようご注意ください。火がつかないようご注意ください。

### ●電池交換サイン（チャオバーナーの器具のつまみを回したときだけ作動します）

乾電池の交換時期をランプにてお知らせします。  
●ランプが点滅……新しい乾電池を差し込んでください。  
●ランプが点灯……チャオバーナーは使用できなくなりました。  
操作時 一旦火はつきませんが器具のつまみから手を離すと消火します。  
乾電池（単1形乾電池）を交換してください。  
標準バーナーとグリルは使用できます。  
乾電池が正しくセットされていなかったり、乾電池の容量がなくなってきたときは、点灯しません。



# 17 お手入れのしかた



- 点検・お手入れの前には、必ずガス栓を閉めて機器が冷えてから行ってください。
- けがをしないように手袋などをはめて行ってください。
- 機器本体に水をかけたり、丸洗いしないでください。

## ● 日常の点検

- 機器周辺に燃えやすいものが置いてありませんか。
- ハーナーキャップ、しる受け皿などは正しくセットされていますか。
- グリル水入れ皿に脂がたまっていますか。
- コム管の接続は確実ですか。
- コム管は腐んでいませんか。
- 立消え安全装置（炎検知部）・温度センサーが汚れていませんか。
- ハーナーの交口が蒸汗などでつまっていますか。

## ● お手入れのしかた

### お手入れのときの用具と洗剤

- やわらかい布やスポンジたわしを ● 台所用中性洗剤（野菜・食器洗い用）  
使用してください。 ● お手入れをしてみてください。
- お手入れのときは手袋を使用してください。



酸性・アルカリ性洗剤やシンナー・ベンジン・おがき粉は使用しないでください。

### 機器本体・ごとく・しる受け皿・トッププレート

- 表面がよごれたらそのつと濡れふきんでふきとってください。
- 汚れのひどいとき  
台所用中性洗剤（野菜・食器洗い用）を念ませたスポンジたわし・やわらかい布でお手入れし最後に乾いた布でふきとります。
- 汚れが落ちないとき  
台所用中性洗剤（野菜・食器洗い用）で汚れた部分を濡らせておき、お手入れした後水洗いし乾いた布でふきとります。



機器本体には安全に耐える注意ラベルが貼付してあります。汚れたときはやわらかい布などで汚れをふきとってください。また、お手入れの際にははがれないようにご注意ください。

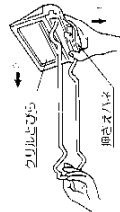
RN-A024A-HLA < RTS-350GAH-L >  
RN-A024A-HRA < RTS-350GAH-R >

|   |   |   |   |   |   |       |
|---|---|---|---|---|---|-------|
| 1 | 6 | 7 | 8 | 9 | 1 | 5     |
| 1 | 6 | 7 | 1 | 9 | 1 | 4     |
|   |   |   |   |   |   | 13101 |

### グリル水入れ皿・グリルとびら・水入れ皿受け

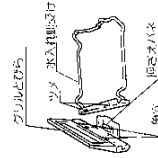
・使用後そのつと台所用中性洗剤（野菜・食器洗い用）を念ませたスポンジたわしでお手入れをする。（取り外してお手入れができます。）

取り外しかた 1 押さえ入れ球を ↓ の方向に下げる  
2 グリルとびらを ← の方向に下げる

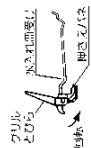


取り外しかた

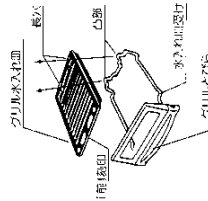
1 水入れ皿受けのツマミをクワグリルとびらの奥にねめ込む



2 ↑ の方向にグリルとびらを回転させる。押さえ入れ球が水入れ皿受けの奥に引っかかっているが確認する



3 水入れ皿受けの奥側をグリル水入れ皿の奥側に入れてセットします



## 19 お手入れのしかた

### ハーナーキャップ

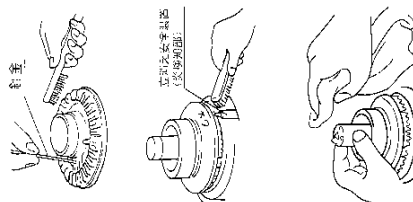
- ・目盛りしていたら、次口をブラシや針金をなどで掃除をする。
- ・お手入れ後は正しくセットし、正常に燃焼することを確認してください。
- ・ハーナーキャップの表面（黒い部分）が耐熱塗料してある場合、台所用中性洗剤（管洗、食器洗い用）以外の洗剤をお手入れすると黒い部分がおかれることがあります。万一はおかれた場合はそのままご使用いただいても問題ありません。

### 立消え安全装置（炎検知部）

- ・熱汁やこみをやわらかい綿布などで拭く。
- ・かたいブラシでみがかないでください。
- ・故障の原因になります。

### 温度センサー

- ・温度センサーの頭部についた熱汁やこみは、布を水に濡しかたくしぼってからふきとってください。
- ・ふきとる場合は温度センサーを手でささえてください。



## 故障かな?と思ったら

20

### 警告

■使用中に異常を感じたときはすぐに使用を中止する

あわてずガスを閉めてください。



ガスを閉めると

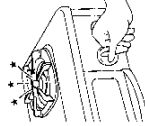
調べてみることで故障でない場合があります。修理を依頼する前に、もう一度チェックしてください。

| 現象                            | 原因  | 処置  | 参照ページ   |
|-------------------------------|---|---|---|
| 点火しない                         | ガス栓の閉塞<br>ハーナーキャップの取り付け不良<br>燃焼センサ付ハーナーキャップの取付不良<br>温度センサーの不具合<br>ガス栓の開き不足                  | お部屋のガスを全閉にしてください。<br>正しくセットしてください。<br>正しくセットしてください。<br>温度センサーを正しくセットしてください。<br>燃焼センサ付ハーナーキャップの取付不良を修正してください。<br>お部屋のガスを全閉にしてください。<br>※はじめての燃焼は点火するまでしばらく時間がかかります。 | P13<br>P10<br>P10<br>P16<br>P13<br>P20        |
| 点火しにくい                        | 配管中に空気が残っている<br>こまごまの折れ曲がり、つぼれ<br>ハーナーキャップの取り付け不良<br>ハーナーキャップの炎口つまり<br>燃焼部の汚れ<br>温度センサーの不具合 | こまごまの折れ曲がり、つぼれを直してください。<br>炎口を掃除してください。<br>少し燃焼部を交換してください。<br>温度センサーを清掃してください。<br>点火修理を依頼してください。  | P12<br>P10<br>P19<br>P10,16<br>P16            |
| 点火後しばらくして消火する<br>(燃焼センサ付ハーナー) | 異常音を立て燃える<br>使用時に消火する<br>異常で燃える<br>炎が安定しない<br>調理中に消火する<br>(燃焼センサ付ハーナー)                      | ハーナーキャップの取り付け不良を正しくセットしてください。<br>立消え安全装置を掃除してください。<br>ハーナーキャップの炎口つまりを正しくセットしてください。<br>使用すべきの形状、材質が適している。<br>温度センサーの不具合  | P10<br>P10<br>P19<br>P19<br>P10<br>P14<br>P19 |

なお、異常のあるときやおわかりにならないときには、お買い上げの販売店またはもよりの販売店にご連絡ください。不十分な処理は事故のもととなります。

### ●点火しにくい

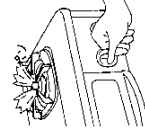
頭などをはじめと点火するとき、ガス管内に空気が入っていて点火しにくいことがあります。ガス管内の空気が残っているまで点火操作を繰り返してください。



### こんなときは異常ではありません。

#### ●消火の時、音がする

消火時に「ボン」という音がすることがありますが、これは火が消えたときの音で異常ではありません。



### ●炎が赤い

グリル使用時にコンロを使用すると焼き物の部分（ナトリウム）や水中に溶解しているカルシウムなどが燃焼して炎が赤くなる場合がありますが異常ではありません。

